

嬉野医療センターを受診された患者さまへ

研究情報公開について

通常、臨床研究を実施する際には、文章もしくは口頭で説明・同意を行い実施します。臨床研究のうち、患者さまへの侵襲や介入もなく診療情報等の情報のみを用いた研究については、国が定めた指針に基づき「対象となる患者さまのお一人ずつから直接同意を得る必要はありません」が、研究の目的を含めて、研究の実施についての情報を公開し、さらに拒否の機会を保障することが必要です。

当院では下記の臨床研究を実施しております。本研究の対象に該当する可能性がある方で、診療情報等を研究目的に利用、または提供されることを希望されない場合は、下記の問い合わせ先へご連絡ください。

研究課題名	大腸腫瘍に対する内視鏡的粘膜切除術および内視鏡的粘膜下層剥離術後の臨床成績 The clinical outcomes after endoscopic mucosal resection or endoscopic submucosal dissection of colorectal neoplasms - A multicenter registry (ESD-R study)
研究責任者（所属名）	山口太輔(消化器内科)
本研究の目的	<p>大腸癌は、がん関連死の最も一般的な原因の一つですが、その罹患率と死亡率は、大腸内視鏡検査によるスクリーニングと腺腫や早期がんの内視鏡的切除によって減少させることができます。内視鏡的粘膜切除(EMR)と内視鏡的粘膜下層剥離(ESD)は、大腸腫瘍に対する主な内視鏡治療法ですが、ESDはその技術の難しさと合併症のリスクにより大きく制限されています。</p> <p>大腸 EMR と ESD の臨床結果と安全性プロファイルに関する短期および長期のデータの両方が必要であり、大腸 EMR と ESD を受けた被験者の臨床データを収集するための多施設登録プラットフォームを確立することで、(1) 大腸 EMR および ESD の短期および長期の臨床的有効性および安全性の結果を評価すること、(2) 大腸 EMR および ESD 後の短期および長期の腺腫再発率（局所的または準時代的）を評価すること、(3) 短期および長期の腺腫再発（局所またはメタクロナス）に関連する因子を同定することを目的としてこの研究を立案しました。</p> <p>本研究は香港中文大学医学部(The Chinese University of Hong Kong Faculty of Medicine)主導の国際多施設共同研究です。</p>
調査データの該当期間	2000年1月1日から 2022年12月31日まで
研究の方法 (使用する試料等)	上記の期間に嬉野医療センターにおいて大腸腫瘍に対して EMR、ESD を施行した患者様に対して後ろ向きに患者情報や EMR、ESD の治療成績、偶発症などのデータを電子カルテより収集します。収集されたデータは香港中文大学医学部にて一括管理されます。

個人情報の取り扱い	利用する情報から、氏名や住所等の患者さまを直接特定できる個人情報は削除した状態で取り扱われます。研究成果は学会等で発表を予定していますが、その際も患者さまを特定できる個人情報は一切利用しません。
本研究の資金源 (利益相反)	本研究に関連し開示すべき利益相反関係にある企業等はありません。
お問い合わせ先	電話：0954-43-1120 (代表) 担当者：管理課長
備考	